

令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)				平均無解答率(%)	
		国語	数学	国語	数学	国語	数学
3年	学校	43	46	31	12.1	25.9	
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	

	平均IRTスコア
学校	429
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均点(点)						平均無解答率(%)				
		国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語	
3年	学校	45	54.1	47.1	43.3	35.8	49.3	11.6	8.3	16.9	19.2	9.0
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年	学校	30	68.2	46.9	56.6	51.7	54.4	6.8	4.8	9.8	3.1	6.2
	大阪市	—	65.2	45.0	56.0	47.9	52.4	6.6	5.6	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	44.3	55.0	46.7	51.8	7.3	6.3	11.7	5.0	7.6
1年	学校	45	51.8	51.8	51.6	52.8	59.3	19.5	6.6	13.5	9.0	7.6
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	3.0	7.6	3.7	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日	生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】	
		(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)	
3年	学校	42	113.1	109.9	130.2	89.5
10月20日	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
2年 男子	学校	29.77	25.31	48.92	48.62	81.67	-	7.75	192.64	16.33	44.10
	大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14	-	8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	-	8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	21.40	17.93	38.67	45.31	45.15	-	9.33	148.50	10.36	42.00
	大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12	-	9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	-	8.97	166.44	12.43	47.58

令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

<国語> 平均正答率について、全国が54.3、大阪市が52に対し、本校は46と8pt程度下回った。全国と比較して、「話すこと・聞くこと」領域においては6.7pt、「書くこと」領域においては9.1pt、「読むこと」領域においては15.8pt下回る結果であった。平均無回答率も全国6.7、大阪市6.8に対し、本校は12.1ptと高かった。生徒質問紙において、「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問項目に対する肯定的な回答は82.2%と高いものの、「国語の勉強は得意ですか」や「国語の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答が35.5%、53.3%と低い。また、「国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか」や「国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか」といった質問項目についての肯定的な回答については全国と比較しても差は大きくないことから、授業で学習した内容を自分のものとして消化したつもりであるが、試験において応用して解答するという部分に課題があると考えられる。

<数学> 平均正答率について、全国が48.3、大阪市が46に対し、本校が31ptと17pt程度下回った。また、領域別では「数と式」「図形」「データの活用」領域のそれぞれで全国と比較して16pt程度下回っており、「関数」領域では21pt程度下回る結果であった。生徒質問紙における「数学の勉強は得意ですか」や「数学の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答は全国と比べて高いが、平均無解答率は全国10.6、大阪市11.2に対し、本校は25.9と大きく上回っており、とくに問題文の読解や記述式の解答に課題や苦手意識があると考えられる。

<理科> 平均IRTスコアは全国503、大阪市489に対し、本校は429となり、74pt下回った。生徒質問紙において、「理科の勉強は得意ですか」や「理科の勉強は好きですか」の質問項目に対する肯定的な回答は低く、理科に苦手意識がある生徒が多いと考えられる。

【今後に向けて】

<国語> 「書くこと」や「読むこと」に関しての平均正答率を上げるため、授業の中で自分の意見を書いてまとめる活動を多く取り入れたり、必要な情報を読み取る活動を取り入れるなど、言語能力や読解力の向上を図る。

<数学> 記述式の問題は無解答率が高く正答率が低いため、習熟度別少人数授業や校内での学力向上の取組において、基礎の定着や論理的な思考の向上を図る。

<理科> 授業の中で、生徒の興味関心を高め、主体的に学ぶ体験的活動を取り入れたり、お互いに意見を交流する対話的な活動をさらに取り入れ、科学的な思考の向上を図る。

○中学生チャレンジテスト(9年生)

【成果と課題】

平均点について、大阪府と比較すると、国語では10.1pt、社会では4.1pt、数学では10.6pt、理科では10.2pt、英語では3.9pt下回る結果となった。また、無解答率は、大阪府と比較すると、国語では4.8pt、社会では1.8pt、数学では4.8pt、理科では8.2pt、英語では1.6pt上回る結果となった。英語は無解答率の差が小さくなり、生徒が前向きに意欲的に取り組むことで、同一集団における平均点に伸びが見られる結果となった。また、生徒アンケートでは、「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめる場面がある」の項目で肯定的な回答が70.5%と大阪府平均65.4%を上回る結果となり、授業内において学習者用端末を有効に活用していると思われる。

【今後に向けて】

すべての教科において、大阪府の平均点より下回っているため、今後もさらに本市の学力向上支援事業に係る支援サポーターや放課後元気アップ学習会等を活用して、学力の定着を図れるよう取り組む。また、生徒アンケートにおいて「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる」の肯定的な回答は84.1%と、大阪府(90.3%)と比較して下回っているため、授業において文章や資料をじっくりと読ませるなど、生徒が読解力を高めることのできるような取組をさらに進めたい。

○大阪市英語力調査(GTEC)

【成果と課題】

・リーディングについては、まとまりのある英文を読むパートCのような問題が課題である。

・リスニングについては、パートDで成果が見られた。

・ライティングについては、ある程度の書く力はあるものの、短文の羅列が多く見られる。

【今後に向けて】

・リーディング:情報のつながりを読み取るために、200字以上の段落に分かれているような長文を読み解く練習を、積み重ねていく。

・ライティング:短文や単語の羅列を克服するために、接続詞や関係代名詞を用いた英文を書くという取り組みを継続していく。また、同じ単語を2回以上使わないなどの指導を徹底していく。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【成果と課題】

・体力合計点において全国と比較して男子は1.9ポイント上回り、女子は5.6ポイント下回った。

・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、肯定的な回答した生徒の割合は、男子100%(全国平均91.1%)、女子73.3%(全国平均77.3%)であった。

・男子は「握力」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「体力合計点」の項目で、全国平均値を上回った。女子はすべての項目において、全国平均値を下回る結果となった。

【今後に向けて】

昨年度の結果を受け、今年度も引き続き、授業でのランニング、体幹を鍛える運動、補強運動、柔軟性などの基礎運動を重点的に取り組み、運動能力の向上をめざした。学年によって差はあるものの、女子の運動やスポーツに対する肯定的な回答が少ないことが課題であるため、日常的に体を動かす機会や取組を増やし、積極的に運動するように促していきたい。

今後も引き続き、楽しく取り組めるような内容を工夫して、基礎的な運動能力の向上に取り組み、「体力合計点」のポイントの向上をめざす。

○中学生チャレンジテスト(8年生)

【成果と課題】

平均点は大阪府と比較して、国語3.7pt、社会2.6pt、数学1.6pt、理科5.0pt、英語2.6pt上回った。また、平均無回答率は、5教科において大阪市、大阪府ともにすべて上回る結果となった。特に社会、理科における無回答率が低く、生徒アンケートでは、「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。」の肯定的な回答が大阪府より大きく上回っており、授業での学習者用端末の活用の成果であると考えられる。

【今後に向けて】

すべての教科において、大阪府の平均点より上回っているため、今後も引き続き、授業における生徒の学習意欲を高める工夫を続けたい。

○中学生チャレンジテスト(7年生)・中学生チャレンジテストplus

【成果と課題】

平均点は大阪府と比較して、国語では11.3pt、数学では5.1pt、英語では5.9pt下回った。社会、理科については、大阪市と比較して、社会では6.5pt、理科では10.2pt下回った。また、平均無回答率は、全教科において大阪市、大阪府ともにすべて下回った。特に国語における無回答率が高く、生徒アンケートでは、「難しいところがあっても、あきらめない」の項目において、肯定的な回答が68.8%と大阪府と比べて10pt以上低いことが課題である。

【今後に向けて】

今後も引き続き、学力向上支援サポーターや放課後元気アップ学習会を利用して、学力の定着を図る。また、日々の授業の中で、課題に対してあきらめずに粘り強く取り組む姿勢を養っていきたい。

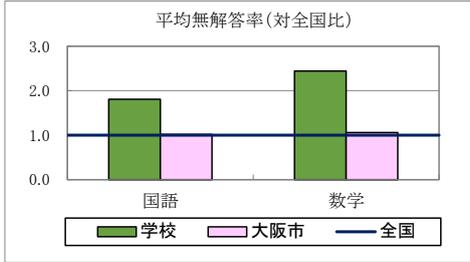
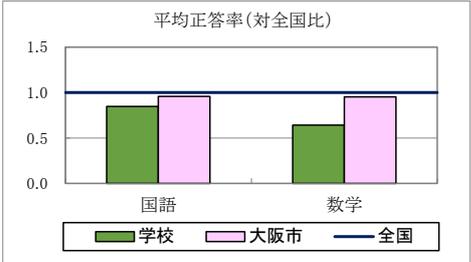
令和7年度 中島中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	46	31
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	12.1	25.9
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

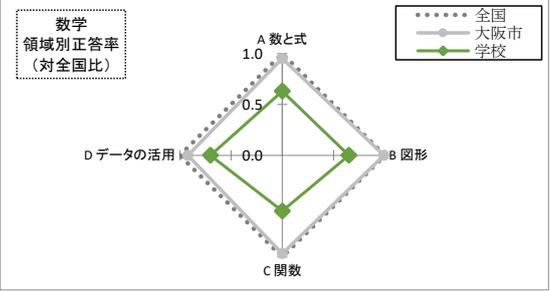
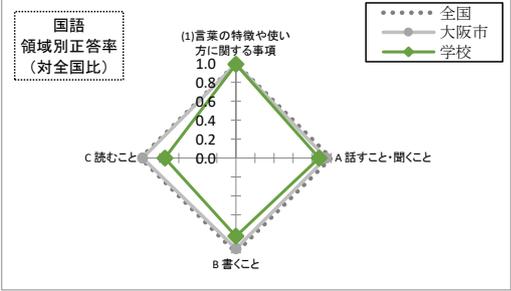
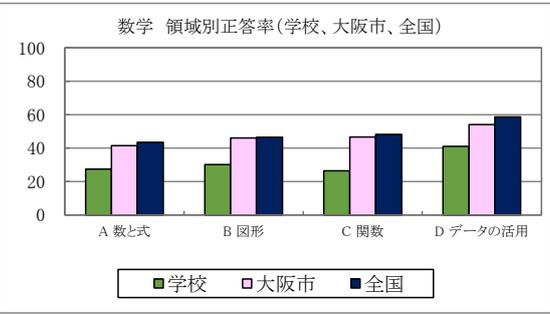
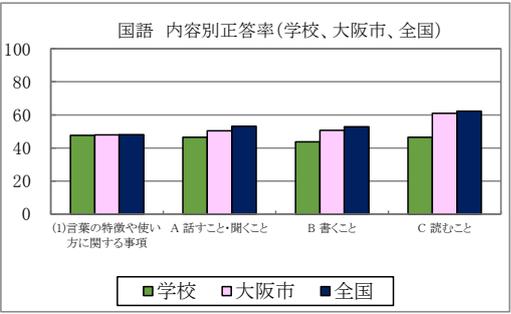


【 国 語 】

【 数 学 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	47.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	46.5	50.4	53.2
B 書くこと	5	43.7	50.6	52.8
C 読むこと	3	46.5	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	27.4	41.4	43.5
B 図形	4	30.2	46.1	46.5
C 関数	3	26.4	46.6	48.2
D データの活用	3	41.1	54.0	58.6

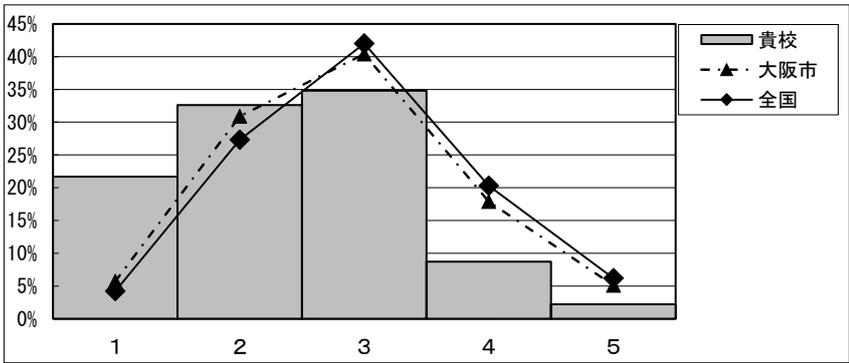
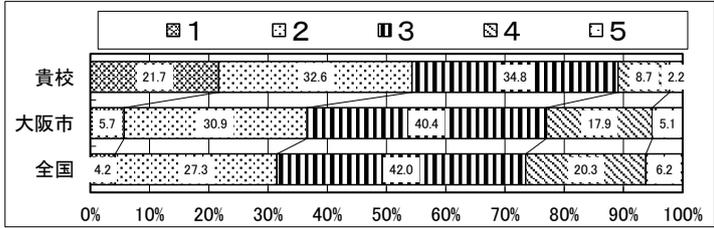


令和7年度 中島中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理科】

	平均IRTスコア
学校	429
大阪市	489
全国	503



令和7年度 中島中学校のあゆみ

—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

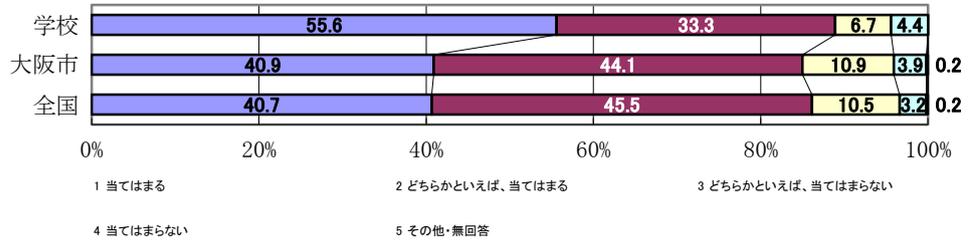
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

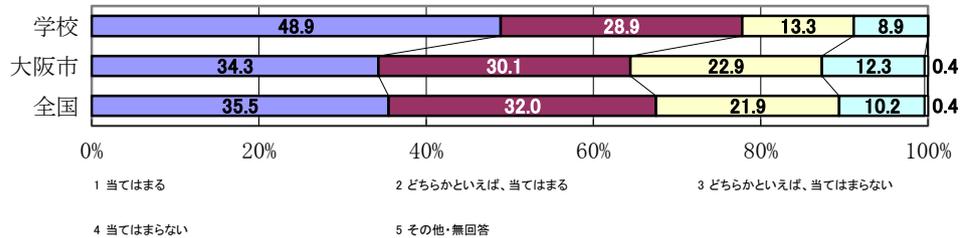
5

自分には、よいところがあると思いますか



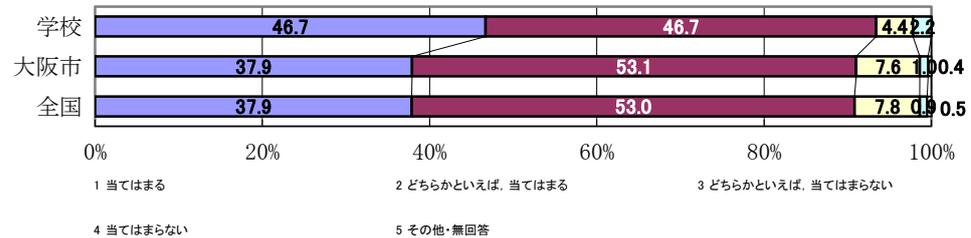
7

将来の夢や目標を持っていますか



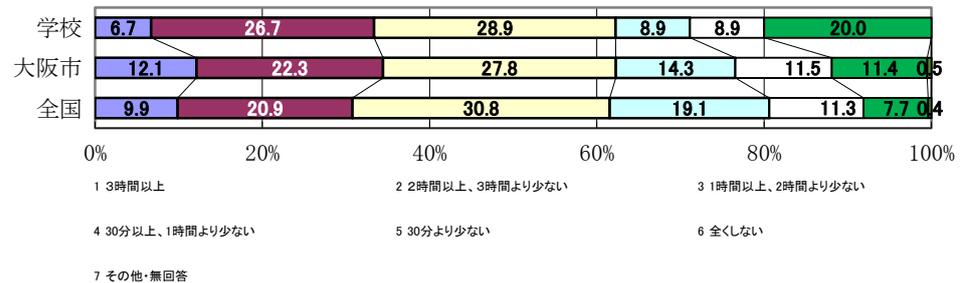
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



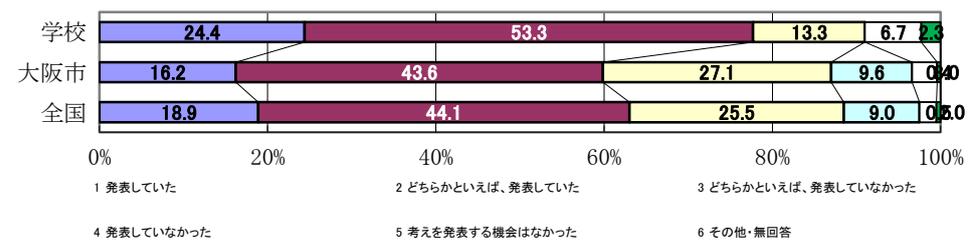
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



31

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



令和7年度 中島中学校のあゆみ

—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

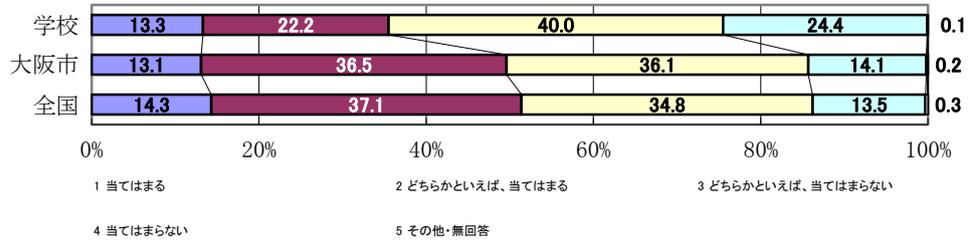
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

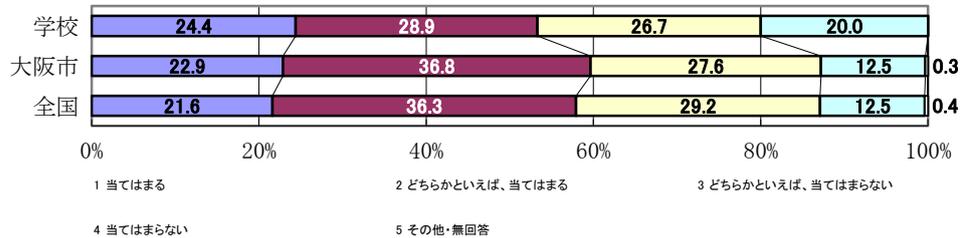
44

国語の勉強は得意ですか



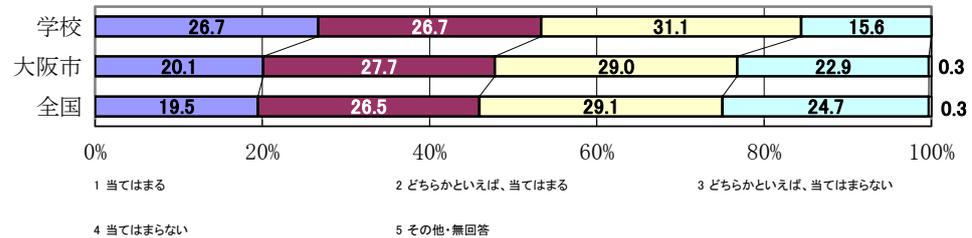
45

国語の勉強は好きですか



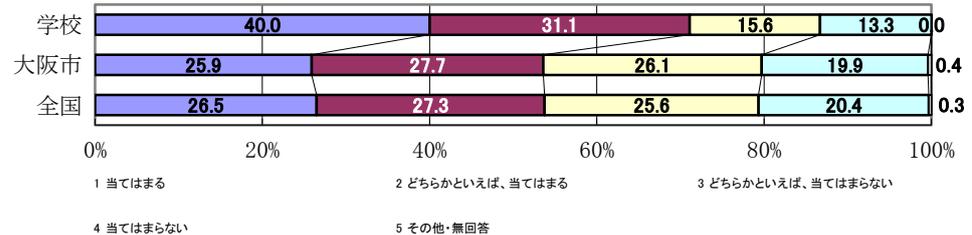
52

数学の勉強は得意ですか



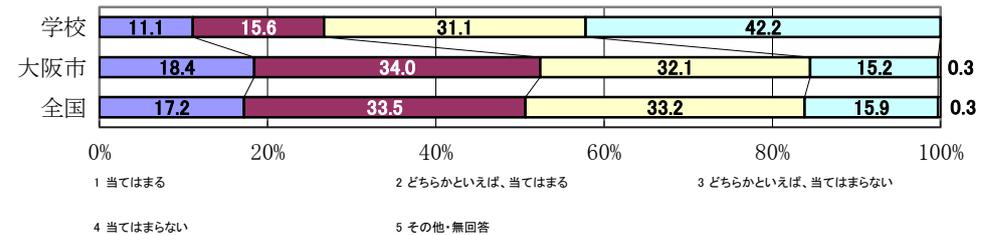
53

数学の勉強は好きですか



60

理科の勉強は得意ですか



令和7年度 中島中学校のあゆみ

—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

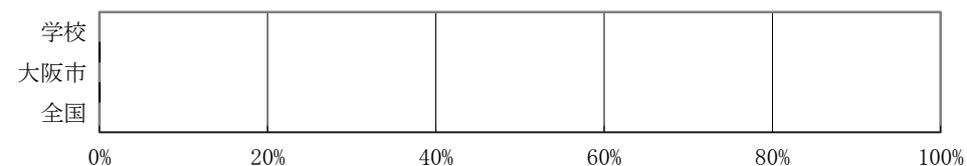
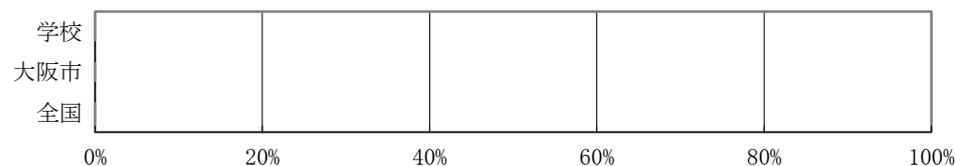
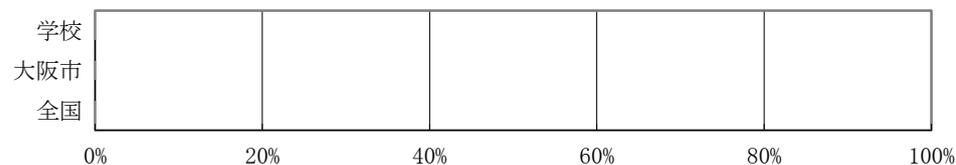
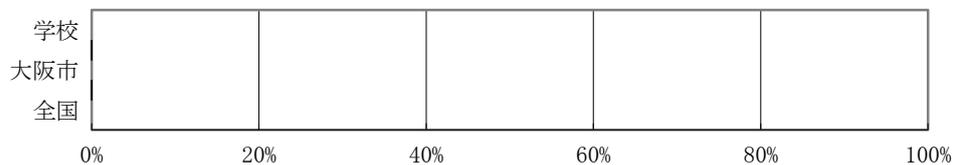
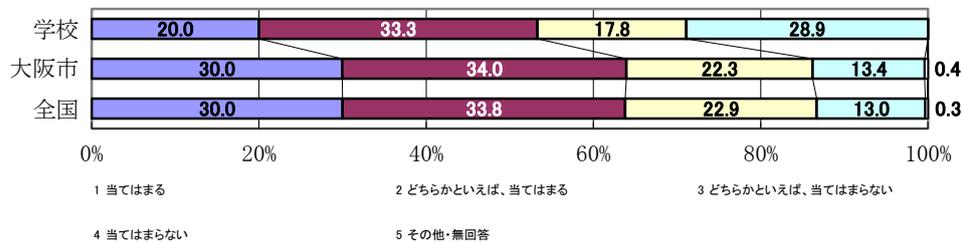
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

61

理科の勉強は好きですか



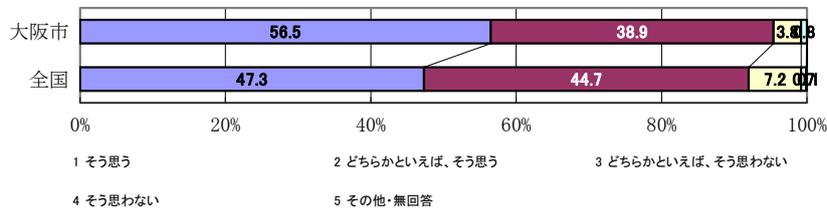
令和7年度 中島中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より



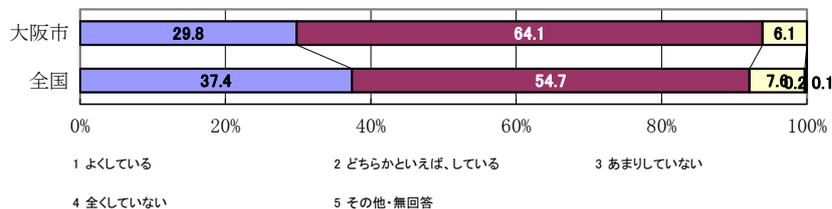
質問番号
質問事項
8
調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いたと思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



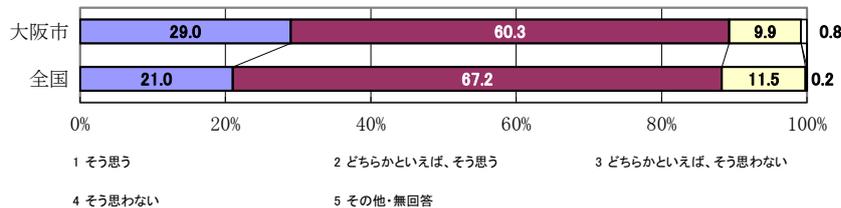
16
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



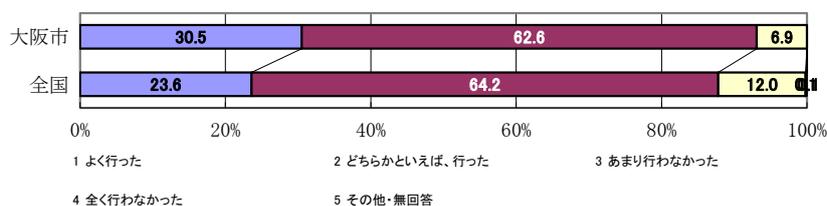
25
調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



30
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



55
前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

